

Amadeus Orchester Tokyo
東京アマデウス管弦楽団

第91回演奏会 Das 91. Konzert

石川星太郎 指揮 Seitaro Ishikawa, Dirigent

金川 真弓 ヴァイオリン独奏 Mayumi KANAGAWA, Violine



ブルッフ ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調

Max Bruch

Violinkonzert Nr. 1, g-moll, op. 26

アントン・ブルックナー

Anton Bruckner

交響曲第6番 イ長調

Sinfonie Nr. 6 A-Dur, WAB.106

2020年3月1日 (日) 14:00開演 (13:30開場)

ミュージア川崎 シンフォニーホール

JR川崎駅下車徒歩3分または京急川崎駅下車徒歩8分

入場料 2000円 (全自由席 未就学児は入場できません)

チケットのお問い合わせ 東京アマデウス管弦楽団

info@tokyo-amadeus.jp

http://tokyo-amadeus.jp

e+(イープラス) http://eplus.jp



東京アマデウス管弦楽団 第91回演奏会

2020年3月1日(日) 14:00開演 (13:30開場)

ミューザ川崎 シンフォニーホール 指揮 石川星太郎

石川 星太郎 指揮 Seitaro ISHIKAWA

1985年、東京都三鷹市生まれ。2016年第1回フェリックス・メンデルスゾーン国際指揮者コンクール(ライプツィヒ・メンデルスゾーン財団、サロニカ交響楽団後援)第2位。東京藝術大学音楽学部指揮科、ロベルト・シューマン音楽大学指揮科卒業。藝大卒業時にアカンサス音楽賞を受賞し、2015年には国際リヒャルト・ワーグナー協会奨学生に選ばれている。

国内では仙台フィルハーモニー管弦楽団、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神戸市室内合奏団、海外ではドイツ、スイス、ギリシャ、ルーマニア、韓国などのオーケストラと共演。とくに2015年の「日韓国交正常化50周年記念コンサート」では日韓のプロによる史上初の合同編成オーケストラを指揮し好評を博した。レパートリーはバッハの宗教曲から現代音楽まで広範。武生国際音楽祭では国内外の多くの新作初演を行っており、若手作曲家たちからの信も厚い。

これまでに指揮を田中良和、ハンス=マルティン・シュナイト、ゲルハルト・ボッセ、リュウディガー・ポーンに師事、ピアノを林達也、ユーラ・マルグリスに師事。



東京アマデウス管弦楽団

Amadeus Orchester Tokyo

1973年に結成され2019年11月に第90回演奏会を迎えた老舗のアマチュアオーケストラ。結成メンバーは70代に突入するも20代メンバーも多い。職業も会社員から研究者、医師、法律家と多岐に渡るが、音程は多岐に渡らないよう日々努力している。当初は、ヴィオラ奏者で指揮者の玉置勝彦氏の指導と指揮により活動。1992年にはオーストリア演奏旅行を挙行し、ウィーンのムジークフェライン(楽友協会)大ホールで演奏した。レパートリーは多岐にわたるが、いわゆる「ドイツもの」を特に得意とする。声楽つき楽曲への志向も強く、10回ごとの記念演奏会ではウェーバー『魔弾の射手』全曲、モーツァルト『魔笛』全曲、ビゼー『カルメン』全曲、プッチーニ『ラ・ボエーム』全曲を演奏している。また、ブラームス「ドイツ・レクイエム」(合計3回)、マーラー「復活」などを演奏している。

近年では、巨匠故ゲルハルト・ボッセ氏を始め、三石精一氏、ジェフリー・リンク氏、故クルト・グントナー氏、石川星太郎氏、川崎嘉昭氏など演奏会ごとに客演指揮者を迎え、年2回の定期演奏会や特別演奏会を行う。石川氏は2012年第77回、2013年第78回、2015年第82回演奏会、2018年第87回演奏会に次いで5回目の登場であり、これは団員一同の信頼が篤いことの証左である。82回第5番、87回第4番、91回第6番と、ブルックナーが続いているのも興味深い。石川氏と我々がブルックナーを続けるのか、レパートリーを広げるのか、今後の展開にもぜひご注目頂きたい。写真は第82回演奏会、石川氏とブルックナー交響曲第5番を演奏している模様である。



Photo: Francisca Blaauboer

金川 真弓 ヴァイオリン独奏

Mayumi KANAGAWA

1994年ドイツ生まれ。4歳からヴァイオリンを始める。現在はハンス・アイスラー音楽大学ベルリンで、元ベルリン・フィルコンサートマスターのコリア・ブラッヒャー教授に師事している。2019年チャイコフスキー国際コンクール4位、ロン・ティボー・クレスパン国際音楽コンクール2位とベストコンチェルト賞、2017年プリンセスアストリッド国際コンクールおよび2013年ハイフェッツ国際コンクール第1位。これまでに、協奏曲をブレメン・ドイツ室内フィルハーモニー、フィンランド放送交響楽団、ラトビアクレメラータ・バルティカ、ロサンゼルス室内オーケストラ、リトアニア国立交響楽団などと共演している。アスペン音楽祭、イエロー・バーン音楽祭、ヴェルビエ音楽祭アカデミーなどにも参加。2012年アメリカの“パフォーマンス・トゥデイ”アーティストに選ばれ、演奏とインタビューがナショナル・パブリック・ラジオ(NPR)を通じて全米に放送された。

日本で名倉淑子、ジュリアード音楽院プレカレッジで川崎雅夫、ロサンゼルスコルバーン・スクールでロバート・リプセットの各氏に師事。

使用楽器は、ドイツ演奏家財団のドイツ国家楽器基金から貸与されたペトラス・ガールネリウス(マントヴァ 17世紀後半製作)。

今後の予定

- 麻生合唱団 第29回定期演奏会
2020年6月7日(日)午後公演 多摩市民館大ホール
松下京介 指揮
カールオルフ「カルミナ・ブラーナ」
- 第92回演奏会 2020年10月25日(日)午後公演
横浜みなとみらいホール 大ホール
指揮 三石精一 曲目未定
- 第93回演奏会 2021年2月21日(日)午後公演
すみだトリフォニーホール 大ホール
指揮 川崎嘉昭 曲目未定 ほか